小学部 志教育全体計画

宮城県立視覚支援学校

児童・生徒の実態

・小学生から成人まで幅広い年齢層の児童生徒が学び，社会経験や障害受容の程度などに大きな差がある。
・晴眼者にとっては簡単な概念形成であっても，その育成のための工夫が必要である。
・他者の意図や感情の変化を読み取ることが難しく，一方的なコミュニケーションになったり，もしくは他者とのかかわりが消極的，受動的になったりする傾向がある。
・自己肯定感が低い。

本　校　の　教　育　目　標

ヘレンケラー女史が，本校に餞として残してくれた「英知・忍耐」という言葉を信条として，視覚等の障害を克服し調和のとれた人格の形成に努め，社会の一員として自主的・積極的に生きる人間を育成する。

保護者や教師の願い

・必要に応じて周囲の支援を受けながら豊かな生活を送ってほしい。
・目標実現のために努力する人になって欲しい。
・将来に向けて自分らしい生き方を選択していってほしい。
・自立した生活ができるようになってほしい。
・社会の一員として，それぞれの役割を担い未来を支える力となってほしい。

「志教育」の目標

より自分らしく豊かに生きるために，自己実現を果たすための課題や今取り組むべき事柄について積極的に考える意欲や態度を育成する。
1．自分を生かすネットワークを築く。
2．自分の目標を実現する方法を学ぶ。
3．それぞれのやり方で社会に貢献する。

重　点　指　導　事　項

人と「かかわる」

友人や教師とのかかわりを基に地域社会の一員として，自分らしさを生かしながら，豊かな社会生活を送るための基本的な態度を養う。

よりよい生き方を「もとめる」

学習や生活に目標を持ち，進んで取り組む姿勢を身につけ，成功感や達成感を持ちながら学校生活を送ろうとする態度を養う。

社会での役割を「はたす」

学級や学校行事の中で，それぞれの役割を自覚し，進んで仕事に取り組む姿勢を身につけ，社会の一員として役割を果たすための基本的な態度を養う。

各教育活動における取り組みの観点

各教科
・日常生活を主体的に過ごすために必要な基本的，基礎的な概念や知識・技能を身につける。
道徳
・道徳的な心情，道徳的判断力を培い，それらを実践に結びつけていく力を育てる。
総合的な学習の時間
・自ら課題を意識し，解決のために創造的に取り組む態度を育てる。
特別活動
・学級学部活動を通して，望ましい人間関係を形成し，学部集団の一員としてよりよい生活をしようとする態度を育てる。
自立活動
・様々な支援を受けながら，障害による学習や日常生活の困難を乗り越えて，前向きに生きようとする力を育てる。

各学年の取り組み内容

低学年
・学習，生活の諸活動に見通しを持ち，教師の支援を受けながら，進んで活動に取り組もうとする。
・基本的な生活習慣を確立する。
・自分の好きなこと得意なこと，できることを増やし，様々な事柄に対して興味関心を高める。
・約束や決まりを知る。
中学年
・学習，生活の諸活動に目標を持ち，目標達成のために努力しようとする。
・自分の持ち味や役割を自覚し，良い面を伸ばそうとする意識を高める。
・協同活動の仕方や仲間関係の在り方について考える。
高学年
・学部の友達と協力しながら，自分の役割を確実に担い，集団の目標を達成しようとする。
・地域社会の活動に目を向け，進んで参加しようとする。

家庭との連携

・現在学校で行っている教育活動が卒業後や将来にどう関係しているのか，社会人となるためにどのような力を培っているのか等について説明し，将来の展望について保護者と共有する。
・教育相談　・支援会議　・進路研修会　・連絡帳
・個別の教育支援計画　　・個別の指導計画

地域・企業との協働

・障害理解の啓発と支援の連携協力を推進する。
・宮城教育大学等，外部の専門家や地域資源の積極的な活用を進める。
・支援会議，就労支援講演会の開催
・居住地校学習
・共同学習